

へつながりから人を支える

〜つながりから高齢者の生きがいを支える〜

歴史・文化悠遊会の活動に密着

■歴史・文化悠遊会とは…

県内在住の60歳以上の方を対象とした、あいちシルバーカレッジ名古屋会場の卒業生が設立した同好会です。悠遊会では、歴史についての情報交換・勉強会を行うとともに、会員同士で各地を探訪し、親睦を深めています。

今回は名古屋市内にある「文化の道」（白壁・主税・撞木町地区）の探訪に同行しました。

会員134名のうち参加は70名。平野相談役と水野代表の2名によるガイドで探訪がスタート。「今までここ（文化の道）に来たことがある人は大勢いる。だからちゃんと勉強し直して、最新の情報を提供しなくては。」という平野さん。会員の皆さんを案内するため、幹事の方々は事前に下見を繰り返し、当日を迎えます。

■悠遊会のはじまり

悠遊会が発足したのは、平野さんがシルバーカレッジに入学した平成18年度。自分の好きな歴史を、みんなと学びあうサークルを立ち上げようという決意を持って入学し、クラスメイトに呼びかけました。パソコンが得意な人は案内文を作り、史跡ガイド経験のある平野さんが行事の準備をする。適材適所で会の運営にあたり、在学中に会員13名から始まった会は、今では行事の取りまとめが大変なほど大所帯になりました。

そんな大所帯の会をまとめる水野代表は「毎月幹事会を開催して、役員同士のコミュニケーションをとることが大事。会の中を循環させていかないと、せつかくの活動も続かない。幹事は大変だけれど、経験してもらって活動の継続に繋がりたい。」と今後の課題・目標も語ってくださいました。



▲代表の挨拶

■歴史・文化悠遊会の魅力とは？

「シルバーカレッジは1年しかないけど、ここでは在学年度を超えた、卒業後の新しい出会いがある。」という会員の声。在学中と一緒に学んだ仲間との『ヨコのつながり』と、卒業年度の違う会員同士の『タテのつながり』。その両方の存在と、充実した活動内容が悠遊会の大きな魅力と言えるのではないだろうか。そして悠遊会での『つながり』が、会員の皆さんにとって生きがい・元気の源になっています。

そんな悠遊会を一言で表すとしたら、『元気と学びが意欲いっぱいな人たちの会』。今回の探訪は残暑の厳しい9月上旬に開催されましたが、日傘を片手に熱心に説明を聞いて回り、探訪後の食事会では会話が絶えず…元気で若々しい皆さんに囲まれた1日でした。



▲探訪の様子